

今金町では、障がい者が活躍できるビジネスを育てる「ソーシャルタウン構想」実現のために、産学官が連携し、やさしく安全な地域づくりを目指している。

## 関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
養護学校 卒業生の 雇用(人)	2	3	5	60

※新規学卒者数

## 取組の推進体制

町、商工会、農業団体、社会福祉団体等が連携し、北海道立今金高等養護学校卒業生の地元雇用促進に向けた取組を推進している。

## ソーシャルビジネス支援の促進

○主な取組  
障がい者雇用を進める企業に対する、町独自の補助金を創設。



イチゴハウス

○主な成果  
町独自の補助金を活用した、民間企業によるイチゴハウス建設や農産物加工場整備により、障がい者雇用の安定が図られている。



## 取組事例 役場での就労体験

### 北海道立今金高等養護学校在学生に対する短期就労体験やインターンシップを実施

- 主な取組
  - ・在学中の2年生を対象に短期の就労体験を実施
  - ・在学中の3年生を対象に2週間程度のインターンシップを実施
- 主な成果
  - ・希望者は卒業後に町の会計年度任用職員として勤務
  - ・実務経験が活かされ一般就労へつながる

## 障がい者雇用の状況(役場関係)

- ・過去5年間の役場会計年度任用職員人数 2人
- ・過去5年間の役場一般行政職採用 1人

令和2年度における  
北海道立今金高等養護学校卒業生の  
町内雇用人数 7人(既卒者含む)